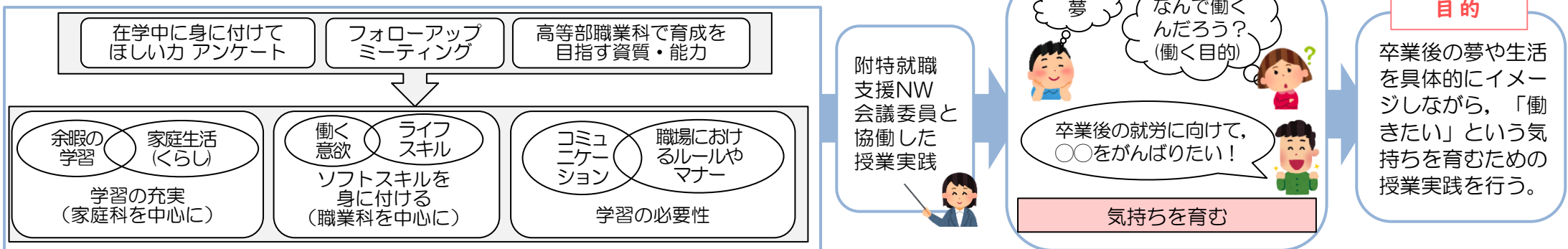


「働きたい」という気持ちを育むために

～附特就職支援ネットワーク会議委員と協働し、ライフキャリアの形成に向かう力を育てる高等部職業科における授業実践～

辻 清美, 上園宗徳, 永井崇雄 (熊本大学教育学部附属特別支援学校) 山田浩三 (アス・トライ代表/本校就職支援ネットワーク会議委員)

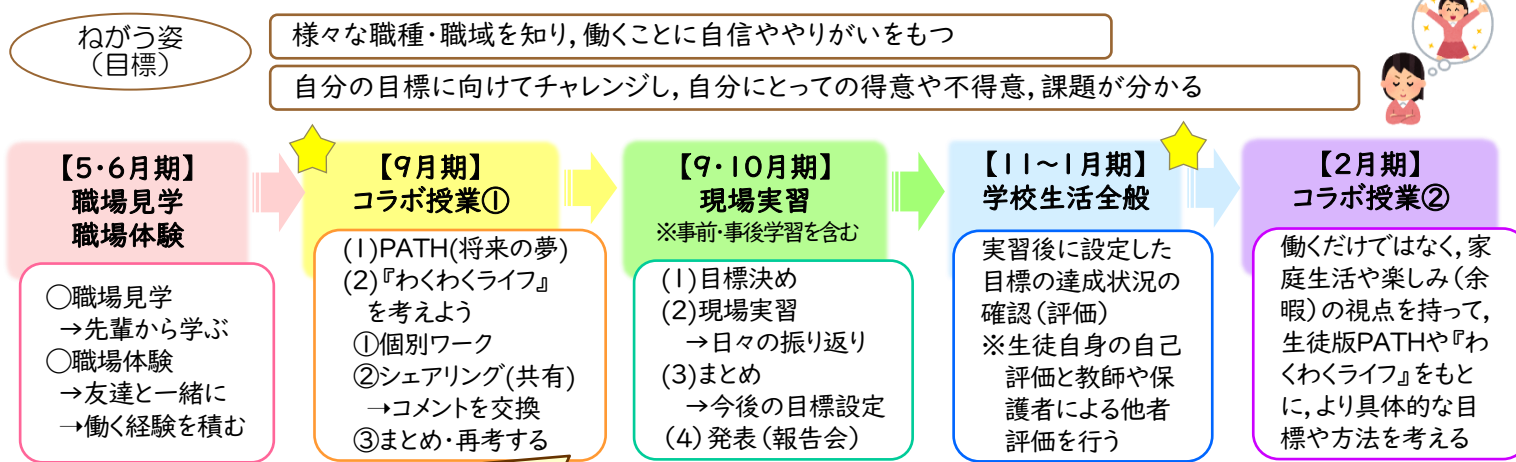
◆はじめに 卒業後の生活を見据えて



方法

- 1 附特就職支援ネットワーク会議委員 (以下: 附特NW委員) と協働した授業づくり
- 2 フォローアップミーティングや『在学中に身に付けてほしい力 アンケート』を参考にした授業内容の検討
- 3 年間を通したライフキャリア (かかわる・くらす・はたらく・たのしむ) の視点に立った授業実践

職業科を中心とした年間指導計画 (高等部2年)



授業づくり (計画)

自分のこと、生活や内面を見つめることができるようになるといいですね!



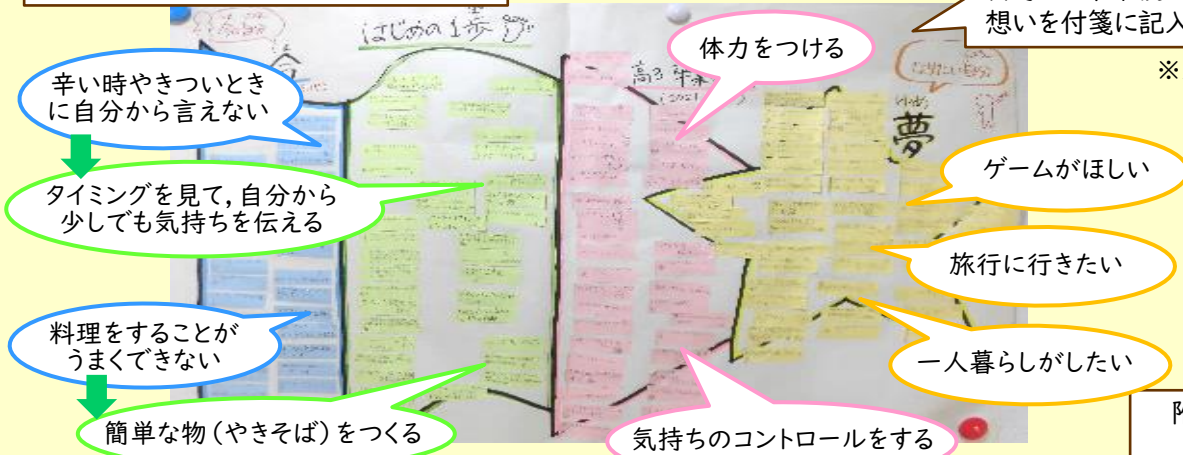
附特就職NW委員と共に授業計画をしている様子

【わくわくライフシート】

得意なこと 好きなこと	住みたい 場所
将来やって みたいこと	自分を応援 してくれる人
やりたい 仕事	休みの日に 行きたい場所

◆取組の様子 コラボ授業① (9月期) の取組

生徒たちが語った『卒業後の夢』



※生徒の実態に応じて手法をアレンジして実施



附特NW委員と共に授業をすすめる
*アス・トライ代表: 山田浩三氏

授業づくりのポイント

卒業後の生活に対して、プラスなイメージから考えを広げる

個で考える時間を十分確保する

友達の考えや想いを知ることで、自分の考えをより深める

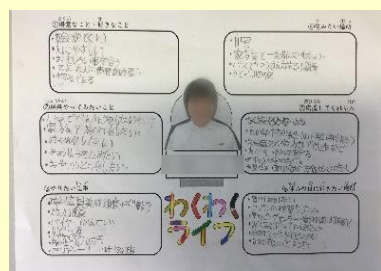
【個別ワーク】

【シェアリング (共有)】

【コメント記入】

【コメント交換】

【コメント確認】



<生徒作のわくわくライフ>

<生徒が記入したコメントの一部>

私もほいくえんの先生になってみたいなあと思ったよ。いっしょでうれしい

動物をたすけるのは、ばくも思っているよ

せっきよく的に話すこともできてるよ!

みんなを笑顔にして、みんなの人気者!

共感

友達の
良いところの
気付き

授業づくり (評価)

～附特NW委員との授業研究会～



授業研究会での
アドバイスなど

友達のよいところに
気付く力がある

夢や希望は、様々な
経験や情報が
増えていくことで
変化する

「聞く・話す・書く・考える」力は、卒業後も大切な力

友達からコメント (評価) をもらうことで、肯定される喜びを感じ、自分への気付きにつながる

夢の実現に向けて、情報収集することも大切

◆成果と課題 コラボ授業① (9月期) を終えて

生徒の皆さん一人一人が、目を輝かせながら、自分の将来 (夢や生活など) について夢中になって考え、言葉に書き綴り、発表する姿が印象的でした。その想いを叶えるために日々の生活で実践されることを期待します。

山田氏より
授業後のコメント

<生徒の様子と変容>

- 自分の将来の姿をイメージすることができた
- 具体的な目標を考えることができた
→現場実習への意欲が高まった
- 友達の想いへ共感する場面が多く見られた
→「自分を応援してくれる人」「仲間」の存在を再確認できた
- ▲自分の生活 (家庭も含む) とのすり合わせが十分でないものもあった

ライフキャリアの視点を取り入れることの大切さを、より実感できた

協働による
成果

専門的な知見を取り入れながら、卒業後の生活を意識した学習を実践できた

◆考察 コラボ授業② (2月期) に向けて



仕事に関するチェックリストによる必要な力の明確化

これから頑張ることを友達と一緒に考える (ワークシートを持ち帰り、保護者と想いを共有)

他教科等と関連付けた学習
例: 家庭科 (余暇の学習), 自立活動